

---

---

## 短かった4年間

森 聡美：「沖縄の歴史情報研究」事務局

---

私は、たまたま沖縄出身ということで、岩崎先生に声をかけていただき、このプロジェクトの事務スタッフとして入りました。途中1年間は夫の海外研修のために不在でしたので、実際には2年10カ月ほど勤めたこととなります。最初の約2年間は、コンピュータの操作も拙く(今でも決して上手いとは言えないのですが...)ただ夢中で桐を使ってのデータ入力に専念していました。それから1年おいて帰国後、復帰してみるともうデータ入力の主なものは殆ど入力し終わっていました。この頃になると必要なカードは全て出揃ったという感じで、さすがにプロジェクトの全貌が見えて参りました。そして、残りの数箇月間は、外字処理作業に殆どの時間を費やすこととなりました。次々とコード化されていく漢字たちと、並んでいく多量のファイル... 何とも言えない達成感のうちにととうとう修了の時を迎えてしまいました。

こちらの仕事を始めた時には、6才と2才だった娘たちも、早いもので4月から小学校5年生と1年生です。コンピュータの進歩は、子ども達の成長よりもっと目覚ましく、プロジェクトにおいて4月日が流れた今、当初予想もできなかった事まで可能になってしまったと聞き、ただ驚くばかりです。私は、沖縄出身とは言いましても、住んでいたのは高校までです。しかも大学ではおおよそ歴史には縁のない専攻でしたから不安半分、それと、故郷に関する研究に携われるという嬉しさ半分のスタートでした。実は、最初にこのプロジェクトのことをうかがった時、「沖縄の歴史情報」というごく狭い地域に限定されたテーマで、一体どれだけの文献があるのか、また、本土にはどの位、研究したいという方がいらっしゃるのか、などと半信半疑でした。しかし今私は、故郷である沖縄について、多数の研究者の皆様がこれ程までに長い時間と労力をかけ、真剣に取り組んで来られたという、そのことがとても嬉しく感じられます。日本の中であって、沖縄は色々な意味で特別な場所だと思います。気候風土だけではなく、文化的にも随分違います。その違いのせいもあってか、旅行先としては大変ポピュラーな地域になりましたが、観光以外のことについてはまだあまり知られていないように思います(私自身、歴史に精通している訳ではありませんから、偉そうなとも言えないのですが...)。このプロジェクトの業績によって更に研究も進み、もっともっと沖縄について日本中の人々に知って貰えることになれば、何よりです。

最後に、私などよりずっと沖縄事情通となってしまう岩崎先生へ感謝の言葉を述べたいと思います。プロジェクトに参加する機会を与えて下さったばかりでなく、お忙しい中、コンピュータ操作や漢字についても、多くのことを教えて下さった岩崎先生、どうも有難うございました。ここで学んだことは、後に活かしていきたいと思っています。